

業務用液晶ディスプレイ 取扱説明書

形名：PCKE-DT1701T

3R004557

このたびは業務用液晶ディスプレイ(以下、本装置)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、必ず**「安全にお使いいただくために」**をよくお読みになり、安全に正しくお使いくださるようお願いいたします。

重要なお知らせ




・本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
・本書の内容については得未予告なしに変更することがあります。
・本書の内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へ一報くださいますようお願いいたします。
・本製品を運用した結果については、前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

■安全に関する共通的な注意について
次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
・操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
・本装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。これを怠ると、けが、火災や装置の故障を引き起こすおそれがあります。

■シンボルについて
安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

警告 (DANGER)	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。
注意 (CAUTION)	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
注意 (CAUTION)	これは、装置の重大な損害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

	△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。
	⊘の図記号は行ってはいけないことを示し、⊘の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。
	●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

■操作や動作は
マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。本装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にお問い合わせください。

■自分自身でもご注意を
本装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事象が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

警告

異常な熱さ、煙、異常音、異臭
万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

修理・改造・分解
自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。

本装置内部への異物の混入
通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れてください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

電源コードの扱い
電源コードは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したり、ショートや一部断線で過熱して、感電や火災の原因になります。
・ものを載せない / ・引っ張らない / ・押しつけない / ・折り曲げない
・加工しない / ・熱器具の近くで使わない / ・東ねない / ・本装置以外の機器に使用しない

本装置上にものを置く
水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物など、装置の上にものを置かないでください。装置内部に入った場合感電や発煙、発火など、故障の原因になります。

揮発性液体の近くでの使用
マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、本装置の近くで使わないでください。本装置の中に入って引火すると火災の原因になります。

電源プラグの抜き差し
・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

本装置の移動
電源プラグなどの外部の接続線をつないだまま移動させないでください。火災、感電、けがの原因となります。

使用する電源
使用する電源は交流100Vです。それ以外の電圧では使用しないでください。電圧の大きさに従って内部が破損したり、過熱・劣化して感電や火災の原因になります。

日本国以外での使用
本装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており本装置は適合していません。

タコ足配線
同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

設置場所について
・極端に高温、低温になる場所に設置しないでください。直射日光のある場所、ストーブのような熱器具の近くに置くくと、故障の原因になります。
・油煙などの発生しない所、振動のない所に設置してください。油煙などが発生する場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因になります。
・腐食性ガスや塩分を多量に含む空気などは、本装置の表面を化学的に腐食させますので、電子部品の接触抵抗や可動部品の構造が脆くなり、装置信頼性が著しく低下します。そのため、本装置は腐食性ガス(特に亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアガスなど)や塩分を多量に含む空気が発生しない場所に設置してください。

湿気やほこりの多い場所での使用
浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の高い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

温度差のある場所への移動
移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、火災や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

梱包用ポリ袋について
本装置の梱包用エアークャップなどのポリ袋は、お子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると、窒息をおそれがあります。

ケースカバーの取り外し
ケースカバーは取り外さないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると感電するなど危険です。

電源プラグの接触不良やトラッキング
電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。
・電源プラグは、相元までしっかり差し込んでください。
・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから、差し込んでください。また、電源プラグは、定期的にほこりが付着していないことを確認してください。ほこりが付着している場合は、取り除いてください。
・グラグラしないコンセントを使ってください。

注意

液晶パネルの破損
液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損した時、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをすおそれがあります。

金属など端面への接触
本装置の移動などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをすおそれがあります。

不安定な場所での使用
傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをすおそれがあります。

目的以外の使用
踏み台やブックエンドなど、本装置本来の目的以外に使用しないでください。壊れたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。

落下などによる衝撃
落下させたり、ぶつけたりするなど過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると、感電や火災または故障の原因になります。

アナログRGBケーブルについて
アナログRGBケーブルを接続するときは端子の向きを確認し、まっすぐ挿してください。向きや角度を確認せずに無理に挿すると、ピンが折れたり、曲がったりします。そのまま使用すると、火災の原因となります。

各ケーブル・電源コードについて
・ケーブルは足などが引っかからないように、配線してください。足などが引っかかると、けがや接続機器および本装置の故障の原因になります。
・ケーブルの上に重畳物を載せないでください。また、熱器具の近くに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。

アルミ電解コンデンサについて
本装置には、アルミ電解コンデンサを使用しています。装置寿命を超えて使用すると電解液の漏れまたは枯渇により発煙・感電の原因となる場合があります。

静電気について
本装置は精密機器です。わずかな静電気も故障の原因となります。あらかじめ金属に触れるなどで、体から静電気を逃がしておいてください。

スタンドについて
・スタンドを交換しないでください。スタンドを交換された場合、ネジ先が内部に接触して、装置の破損を招くおそれがあります。
・角度を調節するときは、両手でゆっくり操作してください。片手で行うと、転倒する恐れがあります。
・角度を調節するときは、スタンドとディスプレイ部の間に指を挟まないように気をつけてください。けがをする恐れがあります。

電源コードのアース線について
本装置の電源コードはアース線付きの電源コードです。本装置を設置する際、アース線は必ず電源プラグを電源につなぐ前に接続してください。アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

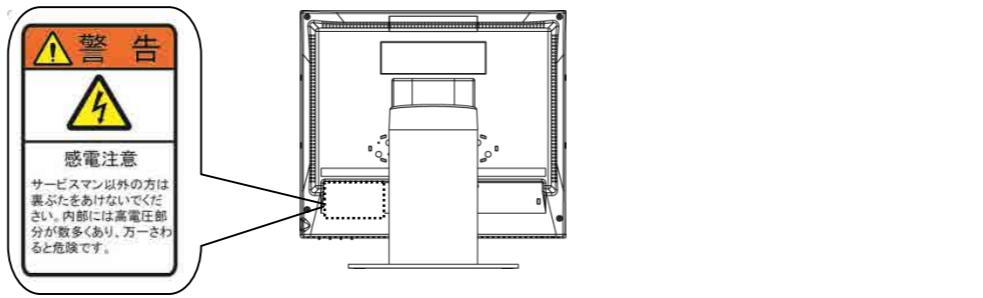
注意

本装置の廃棄
本装置を廃棄する場合は、廃棄物管理表(マニフェスト)の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。

電波障害について
ほかのシレットロックス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。
・テレビやラジオなどからできるだけ離す。
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
・コンセントを別にする。

眼睛疲労について
ディスプレイを見る作業を行うときは、作業場を300〜1,000ルクスの明るさにしてください。また、連続作業をするときは、1時間ごとに10分から15分程度の休息をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

●警告ラベル
警告ラベルは次に示す部分に表示してあります。



規制、対策などについて

●**電波障害自主規制について**
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

●**輸出規制について**
本製品を輸出される場合は、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。
VCCI-A

装置の信頼性について

ご購入いただきました本装置は、業務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著し(影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。高信頼性を必要とする場合には、別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

業務用装置が不適当な、高信頼性を必要とする用途例
・化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など

製品保証規定

1.無償保証期間は、お買い上げ日より1年間となります。また、原則として無償保証期間満了後4年間について有償で故障部位を修理いたします。修理についてはセンドバック修理となります。(修理時の送料は送料元負担とさせていただきます)
2.弊社は、本装置または本装置の使用から生じた、いかなる損害(逸失利益、その他の間接損害を含む)についても一切責任を負いません。また、第三者またはそのお客様からのいかなる請求についても一切責任を負いません。
3.保証期間内においても、次の場合は有償修理となります。
(1)お買い上げ後の輸送および移動時の落下、衝撃等お客様のお取り扱いが適切でないために生じた故障又は損傷の場合。
(2)本装置および本装置の説明書等に記載した取り扱い方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障または損傷の場合。
(3)火災、地震、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、もしくは異常電圧による故障または損傷の場合。
(4)製品に接続した弊社以外の機器などに起因して本装置に故障または損傷が生じた場合。
(5)弊社または弊社指定の修理会社以外で修理または改造された場合。
(6)有寿命部品(LCD、メインボード、ビデオボード、電源ユニット、バックライトインバータ)などが、使用環境により保証期間中に寿命に達したと弊社または弊社指定の修理会社が判断した場合。
4.修理時ケース交換が発生した場合、お客様にて本装置に貼り付けられたラベル等は、保証できません。
5.本規定により修理または交換した部品の保証期間は、修理完了後60日間または本装置の残余保証期間のうち、いずれか長い方とします。また、交換された旧部品および本装置は弊社が任意に処分できるものと致します。

※この保証規定によってお買い上げいただいた装置に係わるお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。-This warranty is valid only in Japan.-

有寿命部品

本装置の部品は、長期間使用しているうちに劣化、摩耗します。次の部品は、有寿命部品のため、一定周期で交換してください。この場合は、有償です。交換については、お買い求め先にお問い合わせください。
また、本装置の設計上の寿命は5年です。
一覧表に記載の寿命については、**事務室(常温 25℃環境)**でご利用いただく条件で算出しております。また、参考値ですので、お客様のご使用環境により、寿命は5年より短くなる場合があります。

品名	参考寿命	備考
LCD	5年	※1、※2
メインボード	5年	※1、※3
ビデオボード	5年	※1、※3
電源ユニット	5年	※1、※3
バックライトインバータ	5年	※1、※3

※1:常温(25℃)の事務室で24時間連続使用を想定した場合の参考寿命です。
寿命は使用する環境の影響を受けますので、25℃前後の環境でご利用ください。
※2:輝度(明るさ)が、当初の1/2に低下したとき、またはピンク放電やバックライト消灯などの点灯状態を寿命とします。
なお、寿命となるまでの時間は、使用頻度や輝度設定、使用環境により変動いたします。
※3:アルミ電解コンデンサを使用しています。アルミ電解コンデンサは有寿命部品です。寿命になると、電解液の漏れや枯渇が生じます。特に電源部分での電解液の漏れは、発煙、感電の原因になることがあります。これらの危険を避けるために、参考寿命を超えて使用する場合は、有寿命部品単位で交換してください。

同梱品

項番	品名	員数	備考	項番	品名	員数	備考
1	装置本体	1		4	S端子ケーブル	1	
2	電源コード ※	1		5	A/Vケーブル	1	
3	アナログ RGB ケーブル	1		6	取扱説明書(本紙)	1	

※電源コードは、本製品専用です。他の機器には使用しないでください。

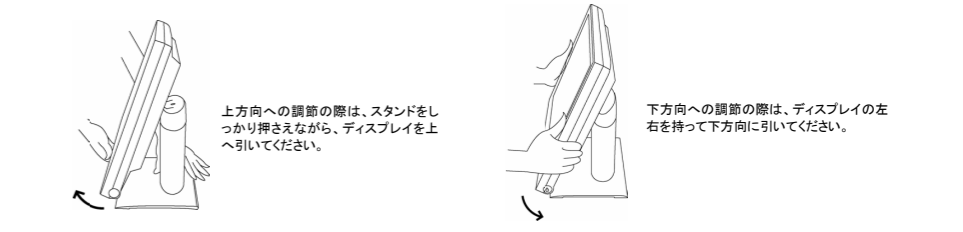
置き場所や姿勢について

本装置を使う場所によっては、思わぬトラブルを引き起こす可能性があります。本装置を正しく使うために、適した場所と姿勢について知っておきましょう。

・装置のディスプレイは、体の正面に設置する。
・ディスプレイの照度、明るさと周囲の照明を適度に調節し、ディスプレイの反射を抑える。
・明るさを見やすいように調節する。
・装置の作業時間は、1日に最大6時間を目安とし、1時間ごとに10～15分の休息をとる。
・周辺機器を接続しても余裕のある、十分な作業空間を確保する。
・不自然な姿勢を避け、ときどき姿勢を変える。

パネルの角度調整

・角度調節範囲は上方向90°、下方向5°です。
・液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。角度を調節して見やすい位置でご使用ください。



日頃のお手入れ

・日頃のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。ディスプレイのほこりは、掃除機や乾いた布で取り除いてください。汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときや油による汚れは、水や中性洗剤に漬してよく絞った布で軽くふき取ってください。水や洗剤がディスプレイ内部に入ると故障の原因となります。
特に、次の洗剤などは塗装を痛めますので使用しないでください。
<アルカリ性洗剤、アルカリ系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類>
ベンジンやシンナーなどの薬品を使ったり、殺虫剤をかけたりすると、変形または変色することがあります。
・ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。
・化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。
・液晶表面は傷つきやすいので、硬いもの(鉛筆など)で押したりこすったりしないでください。テッシュペーパーなどで強くこすっても傷がつかますのでご注意ください。
・液晶表示面にほこりが付いた場合は、乾いた柔らかい布で表示面を軽くふき取ってください。落ちにくい汚れの場合は、市販の液晶画面用クリーナーを少量つけふき取ってください。このときクリーナーが流れ落ちてディスプレイ内部に入らないようにご注意ください。

ご使用上の注意事項

・本装置を使用している場所の近くで落雷が発生した場合、直ちに使用を止め電源プラグをコンセントから抜いてください。
・ご使用にならないときは、電源コードを抜き、カバーなどをかけてほこりが入らないようにしてください。
・液晶表示面の周囲を押さたり、その部分に過度のストレスがかかる状態で持ち運んだりしないでください。液晶表示面が破損することがあります。
・表示画面によっては色むらが見える場合があります。液晶の性質上、本現象が発生することがありますが故障ではありません。
・接続する機器によっては、その機器が立ち上がるまでに表示解像度の切り替えを頻繁に行うため、ディスプレイへの画面表示が数秒遅れることがあります。これは、接続する機器から出力される映像信号が安定するまで、ディスプレイが信号を監視するためであり、故障ではありません。接続する機器から出力される映像信号が安定すれば、ディスプレイは正常に表示されます。
・じゅうたんのある部屋で装置を使用したり、本装置の使用中にひざ掛けなどを使用すると、それらの材質によっては静電気が発生し、本装置に悪影響を及ぼす場合があります。静電気の発生しにくい材質のものをお使いください。
・再生する音によっては音割れが発生する場合があります。適度なボリュームに調整し使用してください。
・ディスプレイ部の表面を強く押したりすると、故障の原因となることがあります。

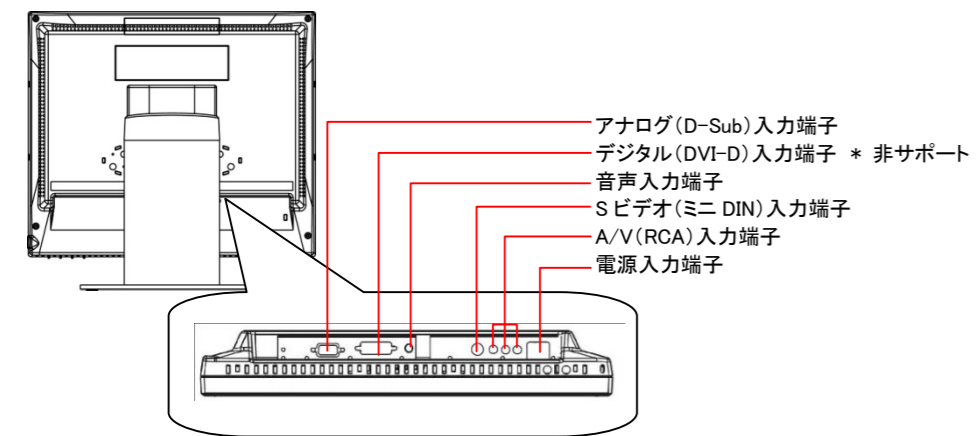
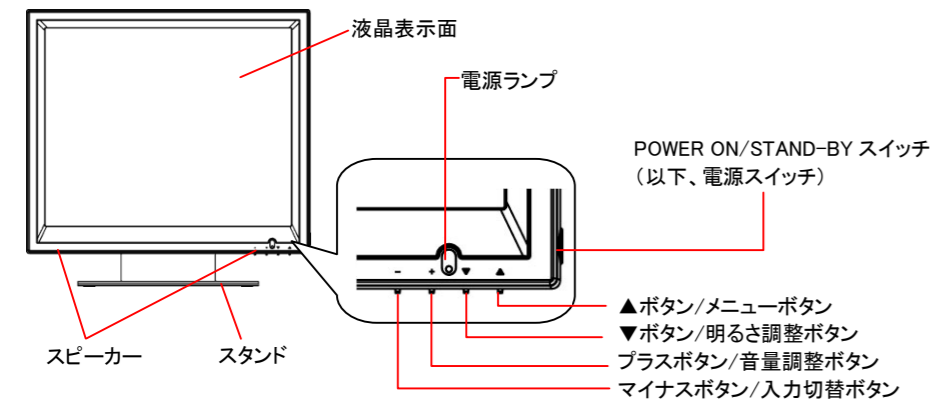
ご使用上の注意事項

- ・表示解像度が切り替わる瞬間に画面にノイズが表示されることがありますが、故障ではありません。
- ・ディスプレイ部は前後へ傾けることができます。このとき、液晶表示面に過度のストレスがかからないように、両手で操作してください。無理な力が加わると、故障の原因となります。
- ・ディスプレイ部はガラスでできています。ディスプレイが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをされる恐れがあります。
- ・ご使用になる各表示解像度およびリフレッシュレートごとにディスプレイの画質調整を行ってください。工場出荷時状態でのディスプレイでは表示画面のにじみや表示位置がずれている場合があります。画面調整はディスプレイの「自動調整」を行うことで自動的に調整できます。一度、自動調整を行うと次回からは調整の必要がありません。また、画面解像度を 1280 × 1024 以外の解像度に変更した場合、ディスプレイのアスペクト比「4:3」に対して「4:3」の表示を行うため、画面表示が縦長になります。
- ・本装置は精密な電子部品で製造されていますので、極端な衝撃を与えないでください。
- ・スピーカーから出力される音質は、オーディオ装置より劣ります。
- ・煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、電源コードを抜いて事前にビニールシートなどで装置を完全に包んでください。

■表示について

- ・表示するパターンによっては、ドット欠け(全く発光しない点、常に発光している点、特定の色にしか発光しない点)があったり、縦線や文字の一部が欠けることがあります。ただし、ドット欠けの数は、当社の規格に従い制限していますので、使用中に著しく増加することはありません。
- ・液晶ディスプレイは、画面の一部にドット欠けや常時点灯が存在する場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは、対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合です。
- ・表示するパターンによっては、画面がちらつくことがあります。ディスプレイを見る角度を調整すると、見やすくなる場合があります。
- ・液晶の特性上、表示するパターンによっては、本来線の無いところに薄い縦線が見えたり、色むらが見えることがあります。故障ではありません。
- ・長時間同一パターンを表示している、画面が変わった時もパターンが薄く見える事があります。これは時間がたつと軽減します。
- ・多色表示を実現するため、また液晶の構造上、上方向から見にくい場合があります。ディスプレイ面を見やすい角度に調整してご使用ください。
- ・長時間連続してご使用になると、液晶の温度が上昇し、コントラストが少し変化したりムラが出ることがあります。これは液晶の温度が下がると元に戻ります。
- ・本装置を立ち上げた直後は、画面の明るさが暗いことがあります。これは時間の経過とともに正しく見えるようになります。

各部の名称



操作方法

- 電源ボタンを押して、電源を入れてください。
電源を切るには、電源ボタンを一秒以上長押ししてください。
- メニューボタンを押すと、画面にOSDメニューが表示されます。
▲/▼ボタンで、調整したい項目を選択します。
※ 入力信号により、表示される項目が異なります。
OSDメニューは一定時間操作のない状態が続くと自動的に終了します。
- プラス/マイナスボタンを使って調整や設定を行います。
- ダイレクト調整機能
(1) 輝度
OSDメニューを表示していない状態で、▼ボタンを押します。
(2) 音量
OSDメニューを表示していない状態で、▶ボタンを押します。
(3) 消音
OSDメニューを表示していない状態で、▶ボタンを押し音量調整画面を表示させ、更に▶ボタンとマイナスボタンを同時に押します。再度、音量調整を行うことで解除できます。
- 入力選択メニュー
OSDメニューを表示していない状態で、マイナスボタンを押すと入力切替メニューが表示されます。▲/▼ボタンで入力信号を選択し、▶ボタンで切り替えます。
- キーロックモード
モニターの電源が OFF の時に、▼ボタンを押しながら電源スイッチを押すとキーロックモードになり、調整がロックされます。再度、同じ操作を行うことでキーロックモードを解除できます。



アイコン	調整項目名		入力選択		調整/設定内容
	日本語	ENGLISH	アナログ	ビデオ入力	
	コントラスト	CONTRAST	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	コントラスト(濃淡)を調整します。
	輝度	BRIGHTNESS	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	画面の明るさ(バックライトの明るさ)を調整します。
	音量	VOLUME	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	スピーカーの音量を調整します。
	自動調整 ※	AUTO TUNE	<input type="radio"/>		クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動調整します。
	水平位置	H-POSITION	<input type="radio"/>		水平方向の表示位置を調整します。
	垂直位置	V-POSITION	<input type="radio"/>		垂直方向の表示位置を調整します。
	言語選択	LANGUAGE	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	メニューの表示言語を選択します。
	クロック	CLOCK	<input type="radio"/>		文字のにじみ・ちらつきの調整をします。
	フェーズ	PHASE	<input type="radio"/>		文字のにじみ・ちらつきの調整をします。
	赤	RED	<input type="radio"/>		赤の明るさを調整します。
	緑	GREEN	<input type="radio"/>		緑の明るさを調整します。
	青	BLUE	<input type="radio"/>		青の明るさを調整します。
	色温度	COLOR TEMP.	<input type="radio"/>		色温度を設定します。(ウォーム・クール・ノーマル)
	リセット	RESET	<input type="radio"/>		設定情報を工場出荷時設定に戻します。
	色相	HUE	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	色相を調整します。
	シャープ	SHARPNESS	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	シャープを調整します。
	彩度	SATURATION	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	彩度を調整します。

※自動調整では入力される信号により、最適な表示ができないことがあります。その場合の微調整は手動で行ってください。クロック、フェーズ、位置の調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の項目については、全ての信号タイミングで共通設定となります。

故障かな?と思ったら

ご使用の際、不具合が生じた場合、次の項目をチェックしてください。

項番	不具合の内容	考えられる原因	対処方法
1	電源ランプが点灯しない	電源プラグが接続されていない。(コンセント側、ディスプレイ側)	電源プラグを接続してください。
2	画面に何も表示されない	本装置に接続した機器の電源スイッチが OFF になっている。	本装置に接続した機器の電源スイッチを ON にしてください。
		アナログ RGB ケーブルや A/V ケーブルが正しく接続されていない。	アナログ RGB ケーブルや A/V ケーブルを正しく接続してください。
		省電力機能が働いている。	本装置に接続した機器の省電力機能を終了させてください。
3	表示色がおかしい	アナログ RGB ケーブルが正しく接続されていない。	アナログ RGB ケーブルを正しく接続してください。
		本装置に接続した機器のセットアップが正しく行われていない。	本装置に接続した機器のセットアップを確認してください。
4	スピーカーから音が出ない	A/V ケーブルが正しく接続されていない。	A/V ケーブルを正しく接続してください。
		本装置に接続した機器のセットアップが正しく行われていない。	本装置に接続した機器のセットアップを確認してください。
5	OSDメニューが表示されない	OSDロック機能が有効になっている。	OSDメニューの操作方法の項を参照して OSDロック機能を解除してください。
6	文字がにじむ	画質調整が正しく行われていない。	OSDメニューから自動調整を行ってください。なお、画面の表示モードによっては、自動調整で最適にならない場合があります。その場合は、手動で画質調整を行ってください。

ビデオモード

ディスプレイ接続する機器のビデオモードを次のいずれかに設定してお使いください。設定方法については、設定する機器に付属のマニュアルをご参照ください。

項番	表示モード	ドットクロック :MHz	水平同期周波数 :kHz	垂直同期周波数 :Hz
1	640 × 350 (VGA)	25.18	31.47	70.09
2	720 × 400 (VGA)	28.32	31.47	70.09
3	640 × 480 (VGA)	25.18	31.47	59.94
4	640 × 480 (VGA)	31.50	37.86	72.81
5	640 × 480 (VGA)	31.50	37.50	75.00
6	800 × 600 (SVGA)	40.00	37.88	60.32
7	800 × 600 (SVGA)	50.00	48.08	72.19
8	800 × 600 (SVGA)	49.50	46.88	75.00
9	1024 × 768 (XGA)	65.00	48.36	60.00
10	1024 × 768 (XGA)	75.00	56.48	70.00
11	1024 × 768 (XGA)	78.75	60.02	75.00
12	1152 × 864 (XGA)	108.00	67.50	75.00
13	1280 × 1024 (SXGA)	108.00	63.98	60.03
14	1280 × 1024 (SXGA)	135.00	79.98	75.03

※:1280 × 1024 以外のモードは、拡大表示しているため文字などがはっきり見えないことがあります。文字などを疑似的に拡大しているため故障ではありません。

※:表示モードが切り替わる瞬間に画面にノイズが表示されることがありますが、故障ではありません。

※:1280 × 1024 以外のモードは縦横比が異なるため、画面が縦長に表示されます。

※:上記以外のモードは、正しく認識されなかったり、正しく表示されない場合があります。

ハードウェア技術情報

項目	仕様	備考
LCD	17.0 型カラー液晶 駆動方式:TN 方式 表面処理:アンチグレア	
映像入力信号	アナログ(D-Sub)入力 ビデオ 0.7Vp-p, 75Ω	
入力端子	D-sub15ピン端子 DVI-D 端子※ オーディオ ミニジャック端子(3.5φ) RCA 端子(オーディオ/コンポジットビデオ) ミニ DIN 端子(Sビデオ) 電源入力端子	※本装置では、DVI-D 端子は非サポートとなります。
解像度	水平 最大 1280ドット、垂直 最大 1024ドット	
スピーカー	最大出力 1W + 1W	
調整機能	OSD 調整 (自動調整、明るさ調整、音量調整、画質調整、色調整、リセット)	
省電力機能	VESA DPMS 準拠 アナログ(D-Sub)入力 省電力モード	
プラグ&プレイ	VESA DDC2B	
環境条件	動作時	温度 0 ~ 40℃ 湿度 20 ~ 80%Rh 以下 (結露なきこと) 最大湿球温度 25℃
	非動作時	温度 -20 ~ 60℃ 湿度 10 ~ 90%Rh 以下 (結露なきこと) 最大湿球温度 25℃
電源	AC 100V 50/60Hz	
消費電力	最大 48W 以下 定常時 36W 以下 スタンバイ時 3W 以下 オフ時 3W 以下	
寸法	392(W) × 381.5(H) × 180(D) mm	
質量(スタンド含む)	約 5.5 kg	

他社製品の登録商標および商品についてのお知らせ

各会社名、各製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標、サービス名称です。

業務用液晶ディスプレイ 取扱説明書

初版 2010年12月

株式会社 日立ケーイーシステムズ
〒 275-0001 千葉県習志野市東習志野 7丁目 1番 1号

この取扱説明書の内容はすべて著作権によって保護されています。この取扱説明書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
Copyright © Hitachi KE Systems, Ltd. 2010 All Rights Reserved.



* 7 X 9 3 R 0 0 4 5 5 7 - 0 1 *